

1. 事案の概要

令和4年1月11日付、上水道管などの品質認証を担う公益社団法人日本水道協会より、ダクタイト管、バルブ、接合部品などの塗装について、神東塗料株式会社が認証を受けた塗料に関し

- ① 不正な条件で得られた試験結果で日本水道協会の認証を取得したこと
- ② 指定外の原材料を使用したこと

の2点に疑いのあることが発表され、問題の塗料を使用した対象製品の出荷停止、並びに使用中止の要請があった。

以上を受けて、令和4年1月12日、熊本市上下水道局では、製品の安全性が確認されるまで対象製品を使用する工事の一時中止を請負事業者に通知したものの。

2. 経緯と対応状況

1/12	<ul style="list-style-type: none"> • 上下水道局発注の43件の工事を一時中止した。
1/13 ～	<ul style="list-style-type: none"> • 日本水道協会による当該塗料会社（神東塗料）への立入検査等が実施された。 • 1月17日までに疑いのあった24種の塗料のうち、14種の安全性が確認され、1月18日から各メーカーも対象の製品リストを随時公表した。
1/20	<ul style="list-style-type: none"> • 代替製品の使用による上水道工事について、一時中止の解除を通知した。 • 安全性が確認できた製品を使用する工事24件を再開した。
1/24	<ul style="list-style-type: none"> • 日本水道協会理事長に対し、九州3政令指定都市の事業管理者名で「出荷自粛をしている水道用資機材の安全性の早期確認」を求める要望書を提出した。
～ 2/22	<ul style="list-style-type: none"> • 1月28日に9件、2月2日に2件、2月22日に8件の工事を再開した。 • 43件全ての工事を再開済み。

3. 水道水の安全性

水道法に基づく定期的な検査を実施しており、市内全域において水質基準項目に異常がないことを確認している。なお、塗料の溶出の影響を受ける可能性のある有機化学物質においては、年4回水質検査を実施しており、また、臨時水質検査においても水質に異常がないことを確認した。

1/19	<ul style="list-style-type: none"> • 塗料の溶出等の可能性がある有機化学物質の臨時水質検査を10箇所実施し、1月24日までに異常がないことを確認した。
2/14 ～16	<ul style="list-style-type: none"> • 定期的な水質検査を31箇所実施し、3月1日、異常がないことを確認した。

4. 今後の対応

- 製品の安全性について、水道資機材の検査機関である日本水道協会からの情報収集に努めてまいります。
- 今後、供用開始する工事については、有機化学物質該当項目を含めた水質試験を実施し、随時、水道水の安全性を確認する。
- 工事の一時中止に伴う工期延期について、市民の皆様にも極力影響を与えないよう配慮しつつ柔軟に対応していく。

※ 対象製品の一例

GX形ダクタイトル 鑄鉄直管（耐震管）



GX形ダクタイトル 鑄鉄異形管



GX形ダクタイトル 鑄鉄管継手

